



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 358

Mai 2021

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

2021年度通常総会のお知らせ

会長 柘田 義一

4月25日に兵庫県下に「緊急事態宣言」が再々度発令されました。これまでとは異なり変異型ウイルスによる感染拡大のためか4月から神戸市内でも感染者数が高止まりしていますが、会員の皆様にはお見舞い申し上げます。

「緊急事態宣言」並びに「感染拡大」を受けまして、例年5月中旬に開催しています「通常総会」は、本年度も昨年度に引き続き緊急・臨時的な対応として、予め会員に「総会資料」を郵送し議決事項については書面にてお諮り(書面表決)することにします。

「総会資料」及び「書面表決」のご案内は同封しています。

なお、例年総会後に開催してきました「会員懇親会」も中止します。いずれ感染が収まった時に改めて会員にお集まりいただき、懇親の場を設けたいと予定しています。

昨年度は同じく5月の通常総会の書面決議を皮切りに予定していました行事類は感染防止のためにすべて開催することが出来ませんでした。コロナ感染が第二波、第三波、第四波と引き続く中、協会では協会と会員間の、会員相互間の交流を維持すべく理事会、実行委員会でコロナ禍での活動を模索しています。本来であれば会員皆様のお声を伺う場である総会が会合形式で開催できないのは、非常に残念なことです。

コロナ禍でも会員の方々との交流を維持するために、昨年度は「会報」を毎月発行し、特別コーナー「感染防止期間特別企画『自宅でドイツを楽しもう!』」を設けてきました。新年度を機に、また感染状況が改善することの期待を込めて、特別コーナーを3月で一時中止しました。残念なことに希望に反して状況は更に悪化しています。このコロナ禍での協会と会員、会員相互間の結びつき・交流の場は会報です。コロナ禍での情報発信の場である会報へのご企画・希望がありましたら、是非ともご意見をお寄せください。ご寄稿もお待ちしております。

新年度の協会活動について

新型コロナウイルスによる感染は別種ウイルスへの変異でその激しさを増しています。このようなコロナ禍での協会運営・活動は、これまでとは異なる新しい展開が求められています。

昨年度の理事会及び実行委員会にてこの新しい展開に対応すべく新組織について検討を重ねその立ち上げの必要が提案されました。協会の抱える問題点解決の中期・短期的展望の策定、ITを活用した広報、行事の企画実施、GJGの運営、ドイツ語講座の展開などについて協議会あるいは委員会等の形式による新しい組織にて、新しい展望から、新しい方式にて、きめ細やかに、コロナ禍の現状とコロナ禍後を見据えた運営をすべく提案がなされてきました。

これまで協会活動の企画立案・準備・実施については実行委員会を中心に行ってきました。しかし委員の高齢化によるご引退、昨年度のコロナ禍によるご自粛等により、この数年、特に昨年は委員会参加者も少ない状態が続いていました。毎月会報にて実行委員会開催のお知らせをしてきましたが、残念なことにご反応はありませんでした。このままでは実行委員会は有名無実化してしまいますので、しばらくその活動を休止させていただきます。これまで実行委員として協会活動に一方ならぬご尽力をいただきました委員の方々には心よりお礼を申し上げます。

これらのご意見・ご提案を踏まえて新年度を機に下記の委員会(協議会)を立ち上げて、コロナ禍での協会運営・活動のこれまでとは異なる新しい展開に対処したいと思います。

各種委員会(協議会)

財務・組織：(主たる担当、以下同)中期・短期的財務展望策定、会費制度の見直し、事務所維持の財政基盤の確立、法人会員獲得等

広報：オンライン化対応、ホームページ、会報、WEB活用広報等。

交流促進：行事・催し物企画・実施、会員交流、各地日独協会・国際機関団体交流等。

GJG：日独若者交流 留学生・研修生対応等。

ドイツ語講座：現行講座の再編、ZOOM講座新設等。

☆ 各委員会の活動内容、開催方式等は、各委員会にて決めていただきます。

☆ 各委員には無報酬にてのボランティア参加をお願いします。

☆ 各委員会への参加をお申し出ください。協会からもこれまでのご協力を踏まえてご依頼を致しますので、その節はご協力をお願いします。

☆ 各委員会(協議会)には理事も参加し、理事会との密な運営をする予定です。

コロナ感染予防のために不要不急な外出、会合の自粛等がこの一年間求められてきました。感染が終息したら「これまで通り、活動を行なおう」と、コロナ禍の中での我慢の1年でした。1年を経て分かったことは、ワクチン接種による希望はありますが、コロナ感染収束の見通しは以前よりも暗いものであるという事でしょう。コロナ禍でこれまでの生活も変わらざるを得ないでしょう。

このような時だからこそ、「ドイツ」という共通の愛好・興味・関心を持つ者が力を合わせてこの難局を乗り切りませんか。感染拡大防止に最善の注意を払いながら、新しい展望を持ち、新しいやり方でドイツを楽しみ、コロナ禍での新しい生活を目指しませんか。

コロナ禍での神戸日独協会の活動について、会員皆様方のご意見・ご提案をお寄せください。

会員の広場

ウイルス感染防止のために協会本来の行事・催しが出来ないのも、会員相互の交流の機会を持つことが出来ずにいます。このコーナーは、会報を通して交流していただくための「広場」です。

ご投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第二月曜まで事務局へ)

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

コロナとオリンピック

会員 柘田 節子

東京オリンピックの開幕まで3ヶ月を切りました。東京五輪の聖火リレーも3月25日に福島から始まり、今月の23・24両日には兵庫県内を巡る予定です。しかしテレビや新聞では日々変種株によるコロナ新規感染者や重症者の数などの報道がなされ、私たちは感染への不安をますます強く感じながら生活しています。新聞紙面で五輪開催の可否が、国会でも五輪開催のための感染対策が多く論じられています。コロナ禍での五輪開催を前にしてケルン体育大学教授であるスポーツドクターとDWとの会談記事を紹介します。

5月初めから東京でのオリンピック競技に参加予定のドイツ選手達へのコロナウイルスに対するワクチン接種の提供が始まるが、このスポーツドクターによれば、彼らは速やかに予防接種を受けるべきだろう。選手にとっては5月上旬に予防接種を受けるのが最善であり、そうすれば6月末には2度目の接種となり、オリンピック競技の開始(7月23日)まで十分な時間を持てる。それより遅れると、明らかにトレーニングの中断の日が多くなり、スケジュールの調整が困難になると。

連邦内務省によると、東京での競技前に接種しなければならない人を約1400人と見込み、細胞内にコロナウイルスの設計図を送り込むことで生体特有の免疫防衛を活性化させるいわゆる mRNA ワクチン(ビオンテック/ファイザー社及びモデルナ社製)を受けさせるとのこと。ドイツオリンピックスポーツ連盟(DOSB)の報告では、予防接種を断固拒否する選手人数は10%を下回り、約15%の出場予定者が既に予防接種をしているという。

全てのオリンピック参加者が予防接種を受けることをこの学者は望んでいます。さもなければオリンピックは非常に大きなリスクとなり、余りにも多くの国々が参加することで余りにも多くの危険性を孕んでいるからです。今世界中の公衆衛生専門家たちを腹痛が起こるほど悩ましているのは、東京でもしも突然変異体が急に出現し、接種予防もそれに対して無力であり、事情によってはひどい感染を引き起こすのを排除できないことです。その場合には、オリンピック参加者がこの突然変異体を自分たちの故国へ運び、そこで社会全体の問題になるというリスクが生じてしまうことです。それにもかかわらずこの学者は、日本の主催者達は自分たちの安全コンセプトで責任の負えるやり方で東京での競技をやっているのけるであろうと、慎重ではあるが楽観的です。「オリンピック競技会が感染拡散のイベントにならないことを、私は理屈抜きで願っています。ただし私個人としては、

我々が全く被害を受けずに済むとは思っていません」とも彼は語っています。「しかしサッカー欧州選手権(6月11日開始)の時にはもっとひどい腹痛に苦しめられるでしょう。この選手権は2カ月も早くにやって来るのですから」と結んでいます。

Deutsche Welle: Olympia in Tokio: Zügig impfen lassen (29.04.2021)より

(このコーナーは、神戸日独協会ドイツ語講座講読クラスLN(火曜日)の受講者が授業で読んだ記事の中から興味深い up date なニュースを随時会報にて紹介しています)

ドイツ語講座特別講座「ドイツ語をより身近に、より深く」

すでに前号にてご紹介をしました「ドイツ語特別講座」は4月17日に開講しました。すでにトゥルンマー先生のご担当は終了しましたが、今後の講義をご案内します。オンラインZOOMで受講できますので、コロナ禍でも是非とも受講して下さい。

第4回(5月15日) 第5回(5月22日)

「ドイツ語の謎を解き明かそう」

会長 枘田義一(神戸大学名誉教授)

第6回(5月29日) 第7回(6月5日)

「ナチ時代を生きた2人の女性～ランデスクンデから考える」

理事 杉谷真佐子(関西大学名誉教授)

第8回(6月12日) 第9回(6月19日)

「ドイツ語発音のコツ～ドイツ語の母音・子音・リズムに親しもう」

理事 林 良子(神戸大学大学院教授)

詳細については、事務局にお問い合わせ下さい。

事務室からのお知らせ

会報印刷・発送ボランティア募集

会報の印刷と発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の印刷と発送は6月10日(木)を予定しています。お手伝いいただける方は事前に事務局へご連絡下さい

(TEL/FAX 078-230-8150)。

印刷: 兵庫県国際交流協会作業室(神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号

国際健康開発センター2階、県立美術館西隣)にて、10:30より1時間半程度

発送: 神戸日独協会にて、12:30～

これからの神戸日独協会の催し

行事及び催し物の開催については、ウイルス感染防止のため日時の確定及び実施が極めて流動的ですので「一覧表」は割愛させていただき、その都度別途「協会ホームページ」でお知らせいたします。「協会ホームページ」でご確認いただくか、あるいは協会事務局へお問い合わせください。